

プロジェクト名：北海道増毛町地先における鉄鋼スラグ施肥材による海藻藻場造成（日本製鉄株式会社、増毛漁業協同組合）

◆プロジェクト概要

・約20年前に造成された沖合の囲い礁の効果の不鮮明になっていた北海道増毛町別荘オタルマナイ地先において、日本製鉄と増毛漁組は共同で2014年10月より日本製鉄社製の鉄鋼スラグ施肥材（ヒバリ®エック） 45tを海岸線270mに埋設し、藻場造成に取り組みました。

・取組当初0.6haであった海藻藻場（主にホソメコンブ）は、7年後の2022年には3.3haまで拡大し、直近過去5年間（2018-2022年）のCO₂吸収量は49.5t-CO₂と試算されました。

◆プロジェクトの特徴・PRポイント

・日本製鉄と増毛漁組は協働体制を構築し、藻場の維持・管理、藻場調査を実施してきました。

・今後もウニをはじめとした水産生物の漁獲高の向上とブルーカーボンの活性化に向け藻場造成を継続していきます。

・また、本活動の認知向上により、全国で藻場造成事例を増やしていきます。

炭酸化製鋼スラグ
(鉄源)



腐植物質
(腐植酸)



図：鉄鋼スラグ施肥材



図：施工の様子（2014年10月）



海藻藻場（黒い影）が海岸・沖合方向に広がっている様子が分かります。



図：藻場の拡大の様子（ドローン画像）